



刊 夕
行發日二月十
（刊休日翌日祭臨日）
番五六五、八〇一第報京東

京都日記 三

谷川生

十月×日
博物館を見る。昔見なれは日本の古美術についてたものばかりだが、久しぶりは、特に佛堂については事に見ると、一種新鮮な感門家も及ばない程よく見てじを受ける。東京では全くの門外漢だ。よく知つてゐるこれだけのものを見る機会許りではない。よく見てゐるは少し。私は美術倶楽部のものだ。その時の取つかしの風貌にも相當行くのがないだらう。しかもそのそのくせ妙に博物館へ行か言ふはこのごろの私の實際だらう。これはどういふものか。東京へ出てからの生活人を訪ねた時だつた。同座のあつたが、昔のやのKさんに私は何かの話をうに一つの繪の前に何度も序でに何氣なく言つた。大十度も立つといふやうな低京都の博物館で見てゐた餘裕を私から奪つてゐる。ものなので見に行きませぬ。私にとする美術品も好

秋風帖

小笠原文夫

○道のへの草の根茎もあらはにて夕は冷ゆる風吹きにけり
○黍の葉にをりて入しき蜻蛉のかけ風にゆたひて飛ばんとせし
○前畑の黍の葉風となりけりしげれかも来るくろ雲の垂り
○草原は霧にぬれたる草のいろなびけて秋の風吹きそめぬ
○垣わけて吹くは秋風肌さむくひとりのいふ縁にすはりて

講談

林 李兵衛作
金子 士郎書

（9）「何んだとッ！ 今一度申して見ろ！」
「はッ、はッお望みなら何度でも……第一貴公の手にある其の櫛だ。それは此の家の娘御が、墓地で遺失したと、その際拙者に語つてゐたから、何よりも動かぬ確かな證據だ」

天気豫報
今晩は北西の風晴
明日は北西の風晴
一時曇

ココロコロリ
ココロコロリ
ココロコロリ
ココロコロリ
ココロコロリ
ココロコロリ
ココロコロリ
ココロコロリ
ココロコロリ
ココロコロリ

野麥社短歌會
日時 來十日前十時
場所 マルトモホール
會費 三十錢
歌題 「葉」各二首
時局に因るもの
詠草 八日締切
送先 マルトモ内野麥編
編集部



「馬鹿な、この此の櫛は、やう、此の場合熟慮される拙者の命の婚約の印に此が賢明で御座らぬか」
「うい、あ、云へばどうも氣にも止めず、相も變らぬ家の娘から……」
「受取つた物……と云はなれればゆすりの材料にならぬからさうしたもので、何んともよめる中では御座らう序ながら手の筋も見て進せようか？」
「ううッ！ 貴様迄が人を愚弄致すか」
「いやなにしに以て……決まらぬに、勝つか負るか競合して愚弄は仕らぬが、實はつて見るか」
「似非武士に似合はぬ空威勢だ、では勝負の眼氣さ刑部の手並を知る由もな刑部は心のうちで」
「大きなことを吐し居つたか、あれも畢竟與かれ者の小唄か、扶持から離れられた人世の不遇から、生甲斐のものは誰の爲て、命懸断たれるは諦めての覺悟であるのが眞理、さあ刀に」
「手一つかけやうとせぬ後手抜き合はせるのも諦めて首を渡すに甘んずるのも無理はない浪々の行詰りだ、野垂死するよりも、斬られて死ねば本望ともは優し丁簡を定の居たものだ」
「飛んでもない早合點だ。侮りの中に近寄り様、石火の如く横に難いた手練の一刀を、まるで柳の糸を縫ふて飛び交ふ燕のやうにツイと軽く身をかはした刑部の右手の拳が、いつ懐から飛び出したか刀の重量に引きまわられて二つ三つ獨樂のやうに舞つた武士の脇腹にやうに舞つた強靱な當つた。これを武道の奥儀と云ふのか、外れなかつた當云ふのは大刀持つたまゝ向餘力で舞ひながら朽木でも倒すやうに横にのめつたで御座つた」
「う、う……何處までも狂言扱ひにする氣だな」
「狂言でなければ座敷で御座るか」
「うい、他くまで嘲弄致す不持者め、もはや問答無益だ、表へ出る」
「悪たれ吐いた拙者の息の根を先づ止めて、而して後徐ろに、芝居の節を迫はれる氣かし、それともからうだかし、拙者どもも貴公同様伊達に帯さぬ彦四郎貞宗、鈍刀と違つて少しも強が御座居る、貴公が持込まれた土造りに赤色を塗つた首と違つて、今

御念入りに生首を持ち込んだ、走り出したのは、娘の髪で、見事に等しいゆすり替代だ。あれでは餘程情病な。大丈夫で御座いますやうか。髪は物にならぬ拙劣さだ。と、配顔
失禮ながらこれでは商賣に御懸念無用や、たかの身には大刀持つたまゝ向餘力で舞ひながら朽木でも倒すやうに横にのめつたで御座つた」

秋・四景

高久 曉霞
白木 英尾
野本 多岐夫
其他十四人

短歌

白木 英尾
野本 多岐夫
其他十四人

俳句

渡邊 何鳴
鈴木 欣子
石橋 柴子
其他五人

小説

小笠原 文夫

詩

林 李兵衛作
金子 士郎書

野麥

第三輯
マルトモ書店發行

秋のジエボ

三浦 瀧
故土屋知美氏の追憶
その建設計畫を聞いて、赤井巖男

高久病院

内科、外科、小児科、花柳病、皮膚科、泌尿科、産科、婦人科、小児科、眼科、耳鼻科、皮膚科、泌尿科、産科、婦人科、小児科、眼科、耳鼻科

石城中小商工互融會

事務所 福島縣平市播磨五路一丁目
電話 五五五番

互融會事業近況

融會金額 一、二〇〇
融會金額 七、五〇〇
融會金額 一、〇〇〇
融會金額 一、〇〇〇
融會金額 一、〇〇〇
融會金額 一、〇〇〇
融會金額 一、〇〇〇
融會金額 一、〇〇〇
融會金額 一、〇〇〇
融會金額 一、〇〇〇

高島屋の洋服

新柄背廣
注文並ニ既製品
高島屋
平市二丁目
電話三八六番

平病院

院長 醫學博士 鈴木定藏
外科 醫學博士 鈴木定藏
皮膚泌尿科 醫學博士 鈴木定藏
物理療法科 醫學博士 鈴木定藏
産科 醫學博士 鈴木定藏
小児科 醫學博士 鈴木定藏
一般婦人科 醫學博士 鈴木定藏
皮膚泌尿科 醫學博士 鈴木定藏
物理療法科 醫學博士 鈴木定藏

一般貨物運搬

迅速低廉に御取扱ひ致します。
福好工業合資會社
代表者 山口唯七郎
自動車部
電話二八二番
砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します。

森合齒科醫院

森合 芳男
植田町電話七一七番

舍大藥會

電話下谷園六七七番
私はずり出身で、特に郷里の首領方の爲めに御便宜を圖ります
主人 比佐棟雄

穴戸屋商店

電話（鹽田部）四〇七五番
電話（鮮魚部）四〇七五番

御贈答品には

シンガー洋裁女學院
入學案内規則書無代進呈
寄附、自款、見習住込メモアリ

眼鏡

最新式レンズ
各回製
七〇六電話 目丁二市平

西村屋藥舖

百藥品
鈴木新右衛門
電話三三番
振替 東京六・二〇九
振替 仙臺一・二〇九

